

2020年
1月11日

「チャイルドケア共育協会」 が発足します!

地球からみれば誰もがチャイルド
大きなとらえ方でチャイルドケアを感じ
共に学び、育っていきましょう

JAA日本アロマコーディネーター協会では、2000年から当協会チャイルドケア部会本部講師の松本美佳先生の提唱する「自然療法と家庭教育を子育てに取り入れたチャイルドケア」の考え方を敷衍してまいりました。

アロマセラピーをきっかけにJAAで学習をされた会員の皆様が、その他の自然療法に興味を持たれるのは当然のことです。当時、世間では「ベビーマッサージ」が

注目を集めていましたので、スタート前に行った各地で行われた特別セミナーも大人気で、「チャイルドケア・ホームワーク講座」も、たくさんの方にお申込みいただき順調にスタートしました。

【チャイルドケアの目的】は、七つのコンセプトを元に、自然療法観にみる幅広い視野で物事をとらえることや、家庭、社会、環境に向けての意識向上、人間愛（徳育）



チャイルドケア
共育協会

や家庭教育への意識向上など健やかで充実した暮らしと人生を送るために考え、実践できる力をつけることにあります。つまり、生きることをていねいに考え実践することです。これらは最初から変わっていません。

●●● 創刊号 (2002年2月) 巻頭の松本先生のメッセージを紹介します ●●●

豊かな心が生み出す力

新しい世紀にこのチャイルドケア講座が開講されたことは、新しい時代を築く子どもたちへの大きな贈り物になったと思っています。皆さんはどんなチャイルドケアをスタートさせていますか？

夢のある未来へという新しい時代への希望が託されている中、先日のアメリカの同時多発テロの悲劇は、同じ地球に生きるものとして、悲しく恐ろしいだけではなく、激しい怒りと憎しみを抱かせるものになりました。そして、チャイルドケア講座は、こんな時代だからこそ、やらなくていけないものだった、やっていかなければならないものだとして改めて強く感じています。

私たちが新しい時代を築く子どもたちに、やらなければいけないことが多くあります。それは、健康な体を作っておくことだけではなく、心を豊かにしてあげることだと強く感じます。体の病気とは違い、心が病んでしまったら、特効薬はなかなかありません。心は心

でしか治せません。豊かな心を築くには、豊かな心をもった人が必要です。

つまり子どもの心を豊かにしてあげるためには、豊かな心をもてるように、大人の相当な努力が必要だと思えます。愛する気持ちや人を慈しむ心、自然や自分の周りに対して感謝すること、自分を信じる想いをもっと積極的に感じなければなりません。

私たちの生活は物や情報にあふれています。物や情報がなくなると不安になってしまいます。本当にそうでしょうか？ 情報がないと行動できませんか？

誰かの助けが本当に必要ですか？
できないとあきらめていませんか？

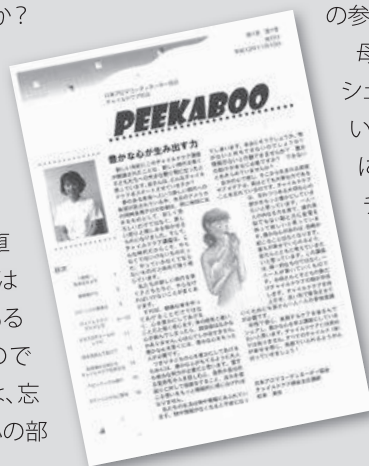
自分の心で感じ、そこから生まれる直感やアイデアは、実はとても大事な力であることを忘れているのです。チャイルドケアは、忘れつつある大切な心の部

分をもっと豊かにしていきたいと思っています。一人一人の内なる力を育て、誰の真似でもない勘と力に自信を持って欲しいと思っています。豊かな心があれば、悲劇が起こることはなくなります。誰もが幸せでいられるよう、皆さんとともに考えていきたいと思っています。この講座は、画一的なものではなく、一人一人が築いていくものです。お母さんと子どもの数だけチャイルドケアの数が存在します。チャイルドケアを向上させ、良い形で普及させていくために皆さん一人一人の参加意識が必要です。

母性で感じ、実践するケアを学んでシェアし、豊かな心を学ぶ講座にしていきたいと思っています。チャイルドケアには終わりはありません。すべてのチャイルド〈命〉が幸せを感じ、笑顔でいられるようがんばっていきましょう!

日本アロマコーディネーター協会
チャイルドケア部会主任講師

松本 美佳



7つのコンセプト

- 1.子どもを取り巻くすべての環境から考える
- 2.自然療法から考えるチャイルドケア
- 3.育児と同じように育母(父)していきたいと思います
- 4.感性を磨きましょう
- 5.言葉の大切さを知る
- 6.ふれあいとタッチ
- 7.「いのち」と「生きる」ことを考えて、伝えていきましょう

講座のスタート当初は、「やり方」、「レシピ」、「正解」を求められる生徒さんも非常に多かったです。

現在でも受講スタート時はそういう生徒さんも多いかもしれません。答え合わせをする学習法が当たり前だからです。チャイルドケアは、自ら答えを出すということ

目的にした講座です。当初はとても斬新な試みでした。しかし受講したことで、皆さんの中にあつた母性や大切な思いなどに気付かれた方も多いことでしょう。そして自信をつけられたこともあつたと思います。常にそこに着目してきた20年でした。

ノウハウを求める声もありました。しかし、松本先生が、セミナーや会報誌「Pee Ka Boo」の中で、粘り強く『チャイルドケアの目的』を伝えてこられたからこそ「チャイルドケア」のスピリッツがしっかり会員の皆さんに伝わってきたのだと思います。会報誌の創刊号の巻頭でのメッセージは、今も変わらずに先生が伝えているものです。

発足当時生まれた赤ちゃんは成人となり、新米だったお母さんはお祖母ちゃんになられているかもしれません。そうした年月の流れの中で、チャイルドケアは子育てのケアだけではなく、命のケアとしてつながれていきました。

「チャイルドケア」は家庭の中のキョウイクとなり、「命のケア」として、より広く深く浸透してきました。

地球・宇宙をマザー(母)にとらえ、私たち人間を含む、動植物すべての命がその子どもたちと考える「チャイルドケア」の目的は、地球、自然環境にも視野を広げて、未来の子どもたちのために守ること、伝えること、残すことを考えていくものとして普及していくためにも、20年という節目は



チャイルドケア
共育協会

- 【2007年】3月
 - ・チャイルドケア・インストラクター(CCI)ライセンス認定制度発足
 - ・CCI発足を機にチャイルドケア部会からチャイルドケア本部に名称変更
 - ・CCIからチャイルドケア・コーディネーター(CCC)ライセンスに変更
 - ・ガイドブック販売開始
- 【2007年】8月
 - ・仙台スクーリング初開催
- 【2008年】3月・9月
 - ・沖縄・広島スクーリング初開催
- 【2008年】11月
 - ・チャイルドケアHPリニューアル
- 【2011年】6月(Pee Ka Boo No.28に)
 - ・特集「震災支援 私たちにもできること」/MCC会員の皆さん
- 【2011年】9月
 - ・東日本大震災チャリティセミナー開催(仙台)
- 【2011年】11月
 - ・チャイルドケア認定加盟校制度(通学)発足
- 【2013年】6月
 - ・誌上スクーリング開催(Pee Ka Boo No.34に)
 - ・加盟校主催によるスクーリング基礎編開催
- 【2014年】4月
 - ・eラーニングでチャイルドケア受験対応可能講座開催(八洲学園大学)
- 【2015年】9月
 - ・チャイルドケア・インストラクター認定講座(通信)開講
- 【2016年】6月
 - ・NPO法人児童虐待防止全国ネットワーク/オレンジリボンフォーラムに出展
 - ・加盟校による会員サポート講座開講
- 【2016年】11月
 - ・JAAいやしの祭典東京会場にて、チャイルドケアブース提供/「チャイルドケアのアロマワーク」開催。他会場でもCCI以上の有志が出展
- 【2017年】9月
 - ・チャイルドケアHPリニューアルその2

- 【2018年】10月
 - ・チャイルドケア共育協会の設立発表
- 【2019年】
 - ・「チャイルドケア共育協会」準備と移行
- 【2020年】1月
 - ・チャイルドケア共育協会として設立

- △にしたものを提案
 - ・チャイルドケアの「3つのキョウイク」、「共育」「響育」「今日生く」を提案
 - ・「家庭教育」を積極的に取り入れ、ノウハウだけではなく、考えて答えを出すスタイルを深める
 - ・「言葉のケア」として、オリジナルワークショップを開講
 - ・タッチケアを広義的にとらえ、触れずに行えるケアを提案
- 【2011年】
 - ・チャイルドケアの「キョウイク」に4つ目の「協育」を加える
- 【2012年】
 - ・八洲学園大学公開講座の講師として活動開始
 - ・公開講座にて「小学生のケア」「思春期のケア」「受験生のケア」など子どもの成長に合わせた心とからだのケアの提案
- 【2014年】
 - ・八洲学園大学公開講座「チャイルドケアeラーニング講座」がCCI受験対応になる
- 【2016年】
 - ・五感と感性を高めるワークショップ「五感★塾」開講
- 【2017年】
 - ・家庭教育支援協会にて「チャイルドケア」活動発表
- チャイルドケア研究所
 - ・チャイルドケアの学習、活動向上のために松本美佳個人活動の場として「チャイルドケア研究所」設立
 - ・チャイルドケア受講者と幅広い見識を深めるため「チャイルドケア図書部」の活動開始
 - ・チャイルドケアのキョウイクに5つ目を加え、5つのキョウイク提案と同時にハブ的な役割として様々な分野とコラボ企画をスタート
- 【2018年】
 - ・タッチケアで利用する赤ちゃん人形の受注制作「チャイルドケア制作部」活動開始
 - ・5月/桜美林大学教授山口創先生による「タッチとオキシトシン」主催
 - ・7月/榎大樹弁護士による憲法講座「檻の中のライオン」を主催
 - ・12月/ボディワーカー山上亮先生による「整体的子育て講座」主催(予定)
- 【2019年】
 - ・2月/シユタイナー講師志賀くにみつ先生による「シユタイナー講座」主催(予定)



チャイルドケア
研究所

チャイルドケアの飛躍の機会だと考えています。

グローバル化やAI化がすすむ情報過多の現代社会。私たちを取り巻く社会環境も変化し、家族、親子、地域社会の在り方も変わってきました。

良い変化があれば、残念ながら大きな問題も出てきています。便利なものは、人を怠惰にさせ、ぬくもりのないコミュニケーションは心を壊し、あふれる情報は考えることを失わせつつあります。しかし、そんな時代だからこそ、チャイルドケアは必要だと考えます。チャイルドケアに根ざした個々の「智慧」や「気づき」は、やがて大きなうねりとなり、良いパワーが人も社会も、地球環境さえも変えていくでしょう。

そのために社会を構成していく私たちが自立した「個」を充実させていくことが不可欠になると考えているのです。

自分で選び、自分で考え、自分で答えを出し、自分で行動していくことができるようになれば、自信になり、未来を切り開く力にもなります。

20年が経ち、時代は大きく変わりましたが「7つのコンセプト」は変わりません。より深い学習提案にしていくなため、さらには様々な分野とつながり、チャイルドケアの可能性を広げる環境をつくっていきたいと考え、日本アロマコーディネーター協会の大きな翼の下から巣立ち、新・協会を設立することとなりました。

この度、チャイルドケアの考えをもとに

共に育っていくことを目的に「チャイルドケア共育協会」を2020年1月に設立いたします。

今まで培い、体系化してきた学習理論を、さらに人として生きることの智慧として昇華させていき、時代に即したネットワーク環境も築いていきたいと考えます。

どうぞ「チャイルドケア共育協会」をよろしく願いいたします。

来年1年をかけまして、新協会については随時お知らせしてまいります。楽しみにお待ちください。

日本アロマコーディネーター協会
チャイルドケア本部内
チャイルドケア共育協会 準備委員会
乾 宏司

チャイルドケアアヒストリー

JAA日本アロマコーディネーター協会

【1995年】4月

・アロマセラピーを普及するための協会として設立

松本美佳先生主宰 ナチュラルセラピースクールM's touch

【1997年】

・夫の治療院でアロマセラピストとして活動する傍ら、院内外で子育て講座、子育て相談などを行う

・ホームケアの充実を図るためのスクールとして、ナチュラルセラピースクールM's touch設立

【1997年】

・自然療法で提案する子育てを「チャイルドケア」とつけて活動スタート

【1998年】

・現在のJAAチャイルドケア講座の前身となる、チャイルドケアの小規模通信講座をスタート



【1999年】 チャイルドケア講座をJAAで全国的な通信講座としての展開が決定

【2000年】9月

・JAAチャイルドケア/ホームワーク申込受付開始
・チャイルドケア・iDAYセミナー開催(東京・大阪)

【2000年】12月 書籍「ママが癒すチャイルドケア」初版発行

【2000年】

・子育て雑誌、セラピー関連の雑誌などに執筆
・カルチャーセンター3ヶ所にてレギュラー講座開講

【2001年】1月

・JAAチャイルドケア講座としてホームワーク(通信)講座開講

【2001年】3月

・チャイルドケア・iDAYセミナー開催(札幌・福岡)

【2001年】9月

・第1回スクーリング開催(東京・大阪)

【2002年】2月

・会報誌「Peak&No.」創刊

【2003年】3月

・インドよりJ・A・Y夫妻をお招きして「アーユルヴェーダ&ベビーマッサージセミナー」開催

【2004年】4月

・チャイルドケアライセンス(CCL)認定制度発足

【2005年】10月

・東京にてスクーリング2部制スタート(スキルアップ編初開催)

【2005年】12月 書籍「わたしと子どもと暮らしのレシピ」初版発行

【2006年】7月

・名古屋スクーリング初開催

【2006年】8月

・親子イベント初開催

【2005年】

・もう一つのチャイルドケアとして、個人主宰第2弾となる通信講座「伝書鳩講座」を開講。四季を通じた暮らしによる生活、手づくり、手作業を通してタッチケア、アートワーク、フラワーエッセンスをカリキュラ

人間を学ぶ
英知の教え

シュタイナー講師

志賀 くにみつ先生

●プロフィール● 志賀 くにみつ(しが くにみつ)

みんなのシュタイナー代表。東京外国語大学大学院(ドイツ文学)修了後、大学でドイツ文学、ドイツ語の講師を務める。またシュタイナー教育を軸にしたカリキュラムを「人間理解」という科目で青山学院大学の教養課程の中で指導する。その後フリーランスとして、シュタイナー、メルヘンなどに関する講座、講演会を積極的に行っている。シュタイナーの教えをわかりやすい言葉で表現し、ひらかれたシュタイナーを提案している。著書「はじめてのシュタイナー」(小学館スクウェア)



チャイルドケアに興味のある皆さんは、一度は「シュタイナー」という言葉を耳にしたことがあるのではないのでしょうか。私がシュタイナーに出会ったのは25年以上も前のことになります。わずか1200gで生まれた私の長女の誕生は、一般の育児書にまったく当てはまるものではありませんでした。それから自然療法を学び始めた時に、シュタイナーの本に出会いました。まさに、それは私の子育ての最初の教えとなり、励みになるものでした。その内容は育児へのお仕着せなどまったくなく、子育てはこんなに豊かで素晴らしいのだということを学びました。

そう、子育ては規定に当てはめるものではなく、命を健やかに育み、その命が求めることをサポートすることが育児であると知り、それを実践していこうと決めました。チャイルドケアの基盤になる想いがここで築き上げられたのだと思います。シュタイナーは子どもの教育だけではなく、自然療法や医療、農法、科学、芸術、建築、思想など多岐にわたっています。生活するためのすべてにシュタイナーの考えがあります。

先生の提唱されているひらかれたシュタイナーについてお話を伺いたいと思います。

*インタビュー*チャイルドケア本部講師 **松本 美佳**

偶然が重なって、シュタイナーに出会う

——シュタイナーとの出会いを教えてください。

◎志賀先生(以下敬称略)◎ シュタイナーとの出会いには興味深いことがあります。私が辿ってきた人生の中でところどころ布石が打たれてあって、自然な形で出会っていったという感じです。そもそも小学生の時は野球少年でした。しかし思春期に入り、少し世の中に対して斜に構える時期がありました。ごく普通の思春期にありがちな内観していた時期です。そんな時に文学を読むことにはまりました。

主にドイツ文学やロシア文学などです。特にヘルマン・ヘッセの「데미アン」との出会いには衝撃でした。人生を探究する物語です。またドフトエフスキーの「罪と罰」。主人公が悩み苦しみ、助けを求めるという物語です。その時に、自分の夢や将来的なものとして、「これだ!」という思いがもてたんです。その後も夢中でドイツ文学を読み、ドイツの生活や文化にいろいろ感化されました。それで大学はドイツ語を学べるところに行こうと決めました。思えばこのドイツ文学との出会いがシュタイナーにつながるきっかけになったんですね。

大学に入っても、シュタイナーには出会っていません。その前に大学3年生のときに「ユング心理学」に出会い、

「自分の心の中には、他者とシンクロする深い部分がある」ということを知り、研究しました。ユングは、シュタイナーに影響を受けているんです。

卒論も「ユング心理学」にしましたが、この時の指導教官の先生が、日本のメルヘン研究において有名な先生でした。実はこの時研究したユング心理学、メルヘンも、シュタイナーを読み解く上で大きな手助けになりました。

最終的にシュタイナーに出会ったのは、学者を目指していた大学院生の頃です。知人からある勉強会に誘われました。それが「シュタイナーの勉強会」でした。あの世とか生まれ変わりとか魂に関する内容で、初めて触れる精神世界でした。最初は「これはちょっとマズイところに来てしまったな」と正直思いました(笑)。でもそこで出会った友人たちから影響を受け、その後もシュタイナーの勉強会に通いました。そして、その指導をされていた先生と地元で偶然にお会いし、ご近所であることがわかり、その先生から直接教えをいただく機会が増えて、いつのまにかシュタイナーを深める機会を得ました。偶然のような出来事が重なって、シュタイナーに到達したという感じですね。今から約30年前のことです。シュタイナー思想には、人はなぜ生きるのか、どう生きたらいいかということを教えてくれるヒントがあります。人間の普遍的な思いを知ることで、生きるための手引きになります。

——シュタイナーを指導されるきっかけは？

●志賀● 大学でドイツ語やドイツ文学は教えていたのですが、15年くらい前に青山学院大学の先生に声をかけていただき、一般教養課程としてシュタイナーを教える機会ができました。当時は「シュタイナー」とつけることはできなかったのも、「人間理解」とつけて、「シュタイナーの気質論」「ユングの第2の自分」「7年周期による教育」などシュタイナー学を教えていました。文学部、国際政治の学部、理系学部など学部を超えて、多くの学生が学んでくれました。そこで感じたのは、学生はシュタイナーの考えを求めているということでした。シュタイナーと付けると縛りがありました。怪しい心理学者というイメージがありましたね。今の時代はもう少しひらかれた場になって

いると思うので、これからは大学でも「シュタイナー学」として人間を知る教えができるようになればいいと思います。

メルヘンとシュタイナー

——メルヘンとは何ですか？

●志賀● メルヘンはドイツ文学の一つですが、シュタイナー教育にも重要な要素です。

メルヘンはグリム童話が有名ですが、空想的でありながら示唆に富んだ物語です。メルヘンにはあるパターンがあります。苦境の状況の主人公が勇気や機転を働かせて苦難を乗り越えます。その中に必ず魔法使いや魔法という形で助けてくれたり、導いてくれる存在が現れたり、良い人も悪い人も出てくる。さらに主人公は他者を助け、最後は幸せになるという流れがあります。メルヘンの基本ですね。

シュタイナー教育では、幼稚園の3～6歳、小学校1、2年生は、グリム童話を先生が素話や読み聞かせをするという授業があります。メルヘンとシュタイナーの考えはとても類似しています。シュタイナーは、人間がこの世に生まれて、ある課題をもって困難に立ち向かい、最終的に精神の豊かさを得るという考えがあります。これはメルヘンの考えに合致します。子どもたちはメルヘンを何度も聞くことで、苦難を乗り越える勇気を得たり、助ける人が必ずいることも信じられたり、他者を助けることはとても大切だということを自然に会得するのです。教え込む必要はなく、メルヘンから自然に学んでいきます。私は、メルヘンとシュタイナーの類似に気づいた時に、シュタイナーの原書はとても難しいことが書いてあるのですが、メルヘンの解釈を応用することでわかるようになりました。

また、メルヘンの特徴には、困った時に必ず助けてくれる存在が現れます。グレートマザーであったり、魔法のものであったりします。それがシュタイナーでは「天使」とか、「死者」という存在にあたります。いきなり「天使」とか「死者」という言葉が出ると解釈に困ることもありますが、メル

ルドルフ・シュタイナー

オーストリアやドイツで活動した神秘思想家、哲学者、教育者。教育、医学、農業、サイエンス、芸術、建築など様々な分野で、

人間がどう生きるべきかを追求する。シュタイナーの主な概念として、個の肉体・精神・霊を周囲の世界とつながりをもつホリスティックな存在として捉え、現在の精神世界、自然療法などの各界の分野に影響

を与えている。子どもの感性を育てるシュタイナー教育は、人間の成長を包括的にみていく「人間学」として独自の教育思想とカリキュラムで構成されている。

ヘンで考えればとてもよくわかります。天使や死者という見えない存在もメルヘンで解釈すれば不思議なものではないのです。

—— そういえば日本でも「おかげさま」という言葉がそうですね。見えない「影さま」が私たちを守ってくれている。「おかげさま」に対して感謝する言葉ですね。日本にもありましたね。

◎志賀◎ そうなんです。シュタイナーの言っていることは特別なことではありません。独自の考えではないんです。人間であれば誰でもあること、どの国でもあることを当時の100年前にドイツ語圏にいたシュタイナーが彼の言葉でまとめたということです。誤解されますが、決して独自の思想とかではないです。誰もが内側に持っている普遍的なもの、一般的なものなんです。だからシュタイナーの本には、「一般人間学」とか「普遍」という言葉をよく使います。現代人は、それが眠っている、あるいは抑圧されているんですね。「非科学的」といって抑圧するんです。そういうことを学ぶのがメルヘンなんですが、シュタイナーも同じです。

—— 現代の大人にもメルヘンは必要ですね。

◎志賀◎ 必要ですね。現代の大人はいわゆる生きる力とか生命力というものが失われていますね。それを自分で蘇らせるためにはメルヘンは必要だと思います。純粋にメルヘンを読むだけでもいいし、大人の場合はさらに解釈していくと、ユング心理学のような解釈もできれば、シュタイナー的な解釈もでき、深めていくことができます。

シュタイナーの本はメルヘンなんです。メルヘン的に解釈するととても普遍的なことなんだとわかるようになります。その一つの例ですが、シュタイナーの幼稚園に通っている子どもたちは毎日メルヘンを聞かされます。すると自然に覚えて家で話してくれると、親御さんは言います。丸暗記して覚えていると。それはとても素晴らしいと思う反面、これが教育的になぜ良いのかということが、親はシュタイナー教育を受けていないのでわからないのです。

それで親御さんから「メルヘンの講座をしてほしい」という依頼があって、メルヘン勉強会をするようになったんです。子どもが覚えてくるメルヘンをひとつひとつ、ここはこういう意味ですとか、登場人物は、シュタイナーでいうとこういうことですと説明したんです。そうすることで、親御

さんもシュタイナーの理解が深まりました。メルヘン的な解釈をすることで、身近にわかりやすく説明することができたんですね。それが私のシュタイナーを教えるきっかけにもなりました。

—— メルヘン的にシュタイナーを解説されたことが、先生のわかりやすい、ひらかれたシュタイナーにつながっていったんですね。ご指導される言葉やご著書の「はじめてのシュタイナー」も、優しい言葉で綴られていてとても読みやすかったです。

◎志賀◎ 題材があることで、説明がしやすくくなります。例えば※「アストラル体」を説明するときに、メルヘンや昔話だと、具体的に登場人物になって「龍」などになって出てくるので説明しやすいのです。

大人が学ぶべき教え

—— 現代人はいろいろと生きづらい状況がありますが、先生はどのように見えていますか？

◎志賀◎ シュタイナーの時代もそうだったと思いますが、その頃からどんどん機械化が進み、今は、さらにIT化やAIと言って、どんどん人間がやる事が無くなってきました。そのメリットもちろんありますが、デメリットもあり、その悪影響を受けて人間の生きる力、自分で何かをするということが無くなってきつつありますね。そういった時に大きな道しるべとなるものがシュタイナーです。シュタイナーは、自分で考えて、自分の感情で、自分で行動する。思考と感情と意志を自分で主体的に行う生き方をしようとするのがシュタイナーの教えの目的です。

—— それはチャイルドケアの目的と同じです。

◎志賀◎ そうです。チャイルドケアと同じようですね。

—— 最近は、自分の子育てや行動に正誤をつけたくなる方が多いように思います。間違っていないか、正しいのか、答え合わせをしたくなる人が多い。間違っていると怖いからできない。答えのあるものばかり求めます。人の評価ばかりを気にしていますね。

◎志賀◎ それは「自己肯定観」が欠乏しているのでしょう。シュタイナー教育は、自己肯定観を育むことを大切にしています。だから自然に自己肯定観をもって行動でき

るようになります。極端な話、生きていることが自己肯定観なんですね。ここまで生きてこられたこと、ここに存在していることが素晴らしいこと。結婚して、家庭をもって子どもをもつということがどれだけ素晴らしいことなのか。それを再認識してほしいですね。本当にそれだけで素晴らしいことなんです。まして命を育てる子育てというのは、大変なことですからね。

シュタイナーは「あるがままを認める」ということも大切にしています。シュタイナーは見えない世界を想定していますが、そこでいう「天使」や「死者たち」は、存在を認めているんです。日本でも「お天道様のおかげ」という見えない存在に対して、感謝する気持ちをもって生活をしていましたね。現代人はそういう感覚が失われているんです。自分の存在がどういう背景にあって、どんなふう存在しているのかという感覚的なものを持っていたのでしょ。身近な大家族やご先祖さまや、自然界があって、自分があることがわかっていたのです。でも今は、他人からの評価しか受け取れない。例えば信頼している人がいるとします。でも実は、その信頼しているその人の上にある天使や死者が認めた人だから、見えない大いなる存在とつながっているんです。

—— 視覚社会が重視になっていて、見えるものしか信じていないという偏った流れも出てきていますね。

●志賀● そうですね。でも私たちの普遍的なところはやっぱり変わらないと思いますよ。神社に行けば、皆さん神様にお参りするでしょう。お墓参りに行けばご先祖様をご供養するでしょう。信じていないわけではないんです。心の奥底にはやはり、そういうものに対する想いを持っているんです。そこを大事にすればいいんです。見えないものをみるというのは、ややオカルト的な意味合いになりがちですが、そういうことではないんです。

—— 今は、子どもたちの問題を取り上げる時に、発達障害という言葉が本当に増えました。ここ十数年のことだと思いますが、何か子どもを選別しているようで私はなじめません。先生は今の子どもたちに対して何か心配はありますか？

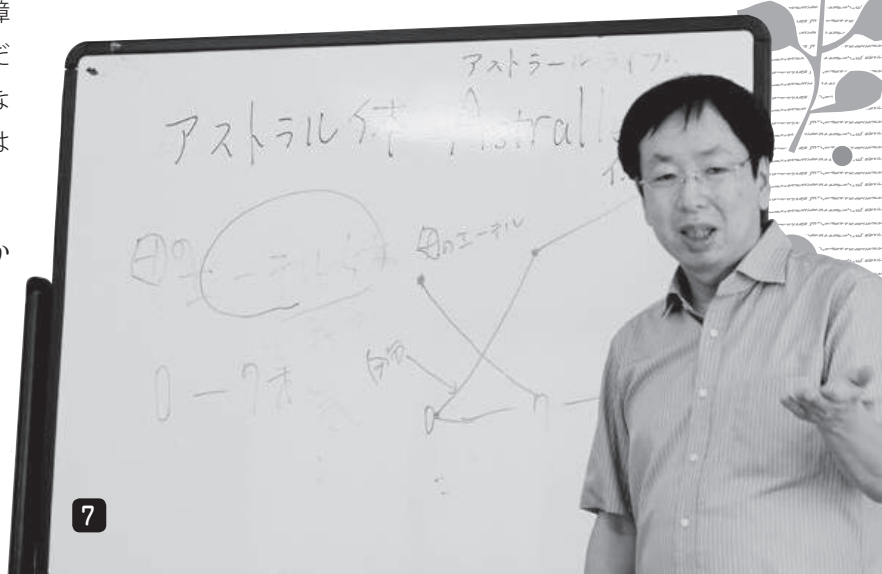
●志賀● シュタイナーではどの子も「ありのまま」ですから、そういう違いは個性としますね。それに基本的に子どもに対しては何も心配ないんです。本当にどの子も心配ないです。

シュタイナーでは、子どもは、自分で選んで生まれてきていると言われています。シュタイナーのカルマ論の考えによると、魂は何十回も何百回も生まれ変わってきているんですね。毎回毎回立派に生まれるわけではないんですね。たまには、少し不便な状況で生まれることもあります。今の人生でたまたま選んで生まれてきたんです。だからそれ自体は心配する必要はないんです。もちろんケアが必要です。大人のケアも必要です。一番心配なのは、自分で自分を否定することです。自分の人生を否定してはならないのです。もちろん思春期の時には、内観する時にはそんな時期もあります。深くひどく傷ついてしまっている時にはケアが重要になります。でも、そんな時に大人がどう対処しているのかということが肝心なんですね。だから、現代の大人のほうが心配です。だから私は大人の人にシュタイナーを知ってほしいと思っているんです。

家庭の中で取り入れられることは？

●志賀● 9歳以下の子どものいる家庭においては、お話をする時間を作ってほしいですね。

それと9歳以下の子どもには、特に生活の中にリズムをつくることです。決まったリズムの中で安心感を得られます。保育園や幼稚園、学校から帰ってきて、お風呂に入ったり、食事をしたり、眠るまで毎日同じ時間で同じ順番に行くことです。大人の都合で逆になったり、時間が乱れたりすることはよくありません。リズムが読めず、大人の都合になると、「やらされた」という感じになります。同じ時間に同じことをするというリズムができると主体的に動けるようになるのです。何気ないことですがとても大切なことなんですね。心の安定にも関係します。今は大人が主体になってそのリズムに子どもを合わせていることも少なくないですからね。子ども自身が「自己参加」しなが



ら主体性を身につけていくんですね。

子どもは次に何をするのか、次にどうするのか、イメージがわからないんです。毎回大人が違う行動をとっているから、イメージがわからない。常に「やらされている」状況になるので戸惑い、行動が鈍くなるんですね。いつも行動が決まっていると、子どものほうが能動的に動きます。

—— 9歳までが大切なんですね。

◎志賀◎ 本当はもう少し大きくなるまでは、そういう生活をさせてあげたいですけどね。現代の子どもは塾や習い事で忙しいですしね。難しいでしょうけどね。規則的なことって子どもにはとても安心を与えるんです。毎日じゃなくてもいいから週のうち3回、4回できればいいんです。

—— その他にありますか？

◎志賀◎ 親御さんが少しでもいいから自分の時間をもつことです。もちろん子育てをしているお母さんはなかなか時間がとれないですし、それを疎かにはできませんね。昔のお母さんはそれでも良かったのかもしれませんが、現代の母親は「個」という意識が目覚めています。一人の女性として、個の自分でやりたいことがあると思います。それができるように時間を作ることが必要ですね。趣味でもいいし、お友達とランチするのもいいし、仕事をするのも良いと思います。できることを意識して、そういう自分の時間を大切にしてください。でも、自分の時間を作っても、その中でも子どものことが気になったりしますね。お友達と遊びに行っても子どものことが気になって早く帰ってきてしまおうとか。自分の好きなことがわずかでもできると、その次は子どものことをやってあげようと思えるようになります。そういうことが大切なんです。でもずっと子どものためにと子どものことばかりやっている、「あなたのためにやって

いるのに！」という気持ちになってしまい、こちらの方がよくありません。

—— 先生のお話をお伺いすると、私が18年前からチャイルドケアとしてお伝えしてきていることとリンクします。今回20年目の節目でチャイルドケアを大きく改定しようと思っていましたが、伝えたいことはほぼ変わっていません。会報誌も今号で50号になりますが、言うことは、立ち上げた1号目で言うこととほぼ変わりません。成長していないのかと思いましたが、シュタイナーは100年前からすでに伝えてきたことなんですね。人間として普遍的なことを私も微力ながら伝えていきたいと改めて思いました。

最後に先生の今後の目標などありますか？

◎志賀◎ まずは子どもがシュタイナーを体験できる場、保育園や学童を作りたいと思っています。すでにそこまで計画はできています。さらには、シュタイナーの老人ホームなども作りたいですね。そして、最近ではさまざまな分野の方から、シュタイナーの話をしてほしいという依頼があります。教育や保育だけではなく、治療家やセラピスト、占星術をされている人など分野はさまざまです。シュタイナーの考えが様々な分野で生かされるよう、皆さんとつながりながら、ひらかれたシュタイナーを追求していきたいですね。

—— チャイルドケアも一つの考え方を軸に、ハブ的にいろいろな分野とつながりを持ちながら、より良い子育て、生活、人生の生き方を考えていきたいと思っています。ぜひまた、ご教授ください。本日はありがとうございました。

※アストラル体

別名感情体。動物と人間にある共感と反感。動物は獲物や餌に共感を持ち喜び近寄ります。反対に敵には反感をもち怒りを表したり、恐れてにげたりします。人間のアストラル体はさらに細分化し、喜怒哀楽などの感情をもちます。

みんなのシュタイナー

志賀くみみつ先生が代表設立された「みんなのシュタイナー」。その名の通り、誰でも気軽に自由にまた活発にシュタイナーを学べる場（東京都大田区）となっています。大人が集中できる環境でシュタイナーを学び、生活に応用するためにさまざまな講座やイベントが企画開催されています。木村美雪先生のアートワークも開催されています。



◎みんなのシュタイナーブログ <https://ameblo.jp/minnanosteiner/>



著書の問い合わせ先
manbukai2@yahoo.co.jp
¥1,600(税、送料込み)



素敵なあの人から
「みる・きく」
を学ぶ

シ ュ タ イ ナ ー 特 集 2

感覚を育む アートワーク

シュタイナー アートワーク講師

木村 美雪先生

●プロフィール●木村 美雪(きむら みゆき)

日本アントロポゾフィー協会教員養成講座、美術教員養成講座、バイオグラフィ・ワークのリーダー養成コースを修了。小学生のぬらし絵とフォルメン線描を中心に、中高生、大人のためのペールペインティング、幾何学などさまざまなアートワークを指導。さらにヒーリングとしての模写も行っている。神奈川県湘南台のアトリエ他、様々な場所で活動中。

アトリエ・プリズム <http://www.atelier-prism.com>

ブログ 「人を癒すアートのカ 〜ドルフ・シュタイナーの思想をベースに〜」

<http://ameblo.jp/misnow17>



私が20年前に「チャイルドケア」を始めたきっかけは、世のお母さんたちにできるだけ育児書やノウハウばかりの指導書に頼らずに、体験をしながら、気づきと感覚を得て、目の前にあるいのちの可能性を信じて子育てしてほしいという思いからです。そのためには、体験が大切で、どのような体験をしていくかがキーワードでした。通信講座の開講前は、フラワーエッセンスやアートワークもカリキュラムに入れていましたが、通信講座では指導が不可能ということで削ったいきさつがあります。私のスクールでは、そうした指導も取り入れています。通信講座ではお伝えする機会がありませんでした。

私は、子どもの頃の夢は絵描きさん。だからアートワークは、実はアロマや自然療法よりも得意です。しかし、上手に絵を描くとかモノを上手に作るということではなく、歌をうたったり、踊りを踊ったりすることと同じように、心豊かに暮らすためには必要だと思います。そして、シュタイナーのアートワークには特に影響を受けてきました。

今回は、シュタイナーのアートワークの講師をされている木村美雪先生から、アートワークの素晴らしさをお話していただくことにしました。絵を描くことの得意不得意ではなく、五感や肌感覚、人間関係などの関わりにも影響するものがアートワーク。ぜひ、興味を持っていただければ嬉しく思います。

*インタビュー*チャイルドケア本部講師 **松本 美佳**

シュタイナーのアートワーク

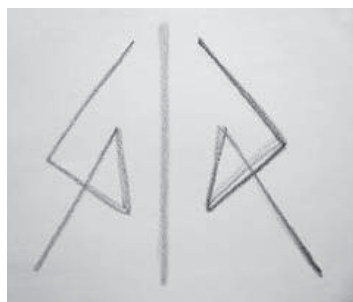
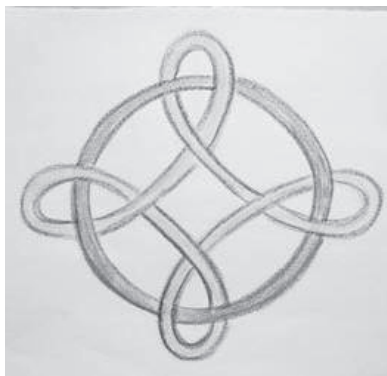
—— シュタイナー教育には、芸術が欠かせないものになっていますが、それはどうしてですか？

❖木村先生(以下敬称略)❖ シュタイナー教育は、学年ごとに子どもの心の成長段階にふさわしい内容を教えます。すべての教科は、芸術的に美しいものを体験させながら教えます。子ども時代に「この世界は美しいもの」と感じられることがとても大切だからです。

そして、シュタイナーの芸術教育は、子どもの感覚を上手に育てていくようにできています。微かな色を見分けたり、かすかな音の響きを聞いたり、手触りの違いを感じ取ったり、教室内の飾りつけのちょっとした変化に気づいたり、子どもたちの感覚はとても繊細になっていきます。

—— 私がシュタイナーのアートワークを知ったのは、子育てを始めたころですから27年前になります。私が知っていた日本の図工や美術の指導とあまりにも違うことに衝撃を受けたのと同時に、子育てにはこれが必要だと直感的に感じました。頭ではなく、心というか体までも使わないとできないことなので、これは子育てと同じだと思います。

❖木村❖ 小さい子どもの場合は、頭を使って何かをするよりも、身体を動かすことが大好きですし、そういうことをさ



※フォルメン線描

クレヨンで描く線描。フォルメンとは、ドイツ語で形のこと。定規などは使わずに、直線、曲線、対象図形などを描くもの。高学年になるとケルトの組紐模様や幾何学模様など複雑なものに発展させていく。

せる方が自然です。シュタイナー学校では、1年生が最初に受ける授業は※フォルメン線描です。最初に描くのは、まっすぐな線と丸い線ですが、クレヨンで線を描く前に、王様が真っすぐ目標に向かって歩いたり、丸い池の周りを散歩するイメージで歩いたりします。そうすると子どもは、王様の心になって、背筋をピンと伸ばして歩きます。まさに心と身体を動かす教育です。

フォルメン線描は、線を描くことで、手の動きを器用に滑らかにする効果がありますが、それ以外にも、とても深い作用があります。集中力がつきますし、リズム感も育みます。線をきっちりと止めたり、カクッと曲げたりすることで、強い意志の力を鍛えます。

また、線と線との間合いをちょうどよく取る感覚は、人間関係の距離感にもつながっていきますし、左右や上下の対称の形を美しく描くことで、人間関係の平等の感覚を育みます。「友達と仲良くしなさい。」とか「人は平等でなければならない。」とか、道徳の授業で教えるのではなく、芸術行為を通して、自然にそのような心を持つ人になるようにするのがシュタイナー教育のやり方です。

もう一つ、特徴的なのは、先生が見本を示して、描き方を教えて、それをまねるやり方です。自由に描きなさい、と言われても、子どもは困ります。描き方を教えてあげれば、子どもは喜んで真似をします。自由に描かせるやり方だと、どうしていいかわからないので、自分は絵が下手だとか、絵がきらいになってしまう子ができてしまうのだと思います。

—— まだ2人の子どもが小さい時に家族でシュタイナーの※ぬらし絵のワークショップに参加したことがあります。ぬらし絵は、描く紙そのものを水で濡らして、そこに透明水彩の絵の具をにじませていく手法ですが、乾いた紙にしか描いたことがなかったので、まずその手法に私は戸惑いました。しかし、その時に5歳か6歳だった

息子がいちばん上手に描きました。素直に筆をもって自由に描いていました。子どもって素晴らしいなと。その時に小学校に上がっていた上の娘は、すでに日本の図工の知識が入っていたので、戸惑い始めていました。子どもの素晴らしい感性の火種を消してはいけないと思った出来事です。

❖木村❖ シュタイナーのぬらし絵は、ちょっと変わっていますよね。通常は線画をさせるのが日本の絵の描き方ですから。それに慣れていると戸惑いますよね。でも小さな子どもは、自由に伸び伸びと描きます。水と色と動きの心地よさを体感しているのだと思います。線で描くのは、本当は小さい子には早すぎます。ぬらし絵というのは、子どもにぴったりの技法なのです。

子どもは本当に素晴らしい色を出します。大人が同じことをしても、あんなに素晴らしい色が出ません。私もいつも子どもの出す色から学んでいます。

低学年のぬらし絵は、色の体験で、形あるものは描かないので、大人が見ると「一体、何を描いたの？」と思うのですが、大切なのは、描いている時のプロセスです。その時に子どもが感情と共に色の本質を感じていることが大事なのです。低学年のぬらし絵は、メルヘンのお話を聞いてから描き、お話の中の様々な感情と色を結び付けて体験します。(例えば、「やさしい赤」、「元気な赤」、「賢い青」、「静かな青」、「楽しい黄色」などです。)

3年生から、ぬらし絵で、形あるものを描くことが始まります。形が現れると、大人は上手いとか下手とか、評価しがちですが、評価することは言いません。ほめることも大切だと思いますが、そうするとほめられるために描こうとしてしまうでしょう？ それよりも、1人1人の子どもの描くものを尊重しつつ、他の子とは比較せず、その子の成長を長い目で見守っていくようにしています。

—— 子どもの目線や視点も素晴らしいですよね。大人が見えなくなったものというか目に映らなくなってしまった小さな花や、虫を見つけるのが上手です。観察することも上手ですね。

❖木村❖ そうですね。子どもは、いつも「今、ここ」に生きているので、面白いものをみつけることができるのですね。先を急いでいる大人には、そういうものは目に入らないです。シュタイナー幼稚園でやっている小学生の水彩クラスで、1人の子が、台の置き方が違っていると気づいて、私

はびっくりしたことがあります。それは本当に目立たないちょっとした変化で、私は、そのことは全く気づいていませんでした。大人は必要があることしか意識が向かないのですが、子どもは、大人から見たらどうでもいいようなことに気づいたりします。子どもの言うことには、よくハッとさせられます。

—— チャイルドケアでは、「みる・きく」をしっかり養うことの大切さを伝えています。「みる」にも「見る」「観る」「視る」「診る」「看る」などさまざまな「みる」があります。「きく」もそうです。「聞く」「聴く」「訊く」「効く」「利く」などありますし、香りも「聞く」と言います。これらができるようにになれば、かなり子どもの状況がわかるようになるし、直感が働くようになると思っています。

❖木村❖ そう、それはとてもシュタイナー的ですね。シュタイナーはそういう感覚を研ぎ澄ますことを超感覚という表現をしています。超感覚は、特別な人だけが持てるものではなくて、誰もが発達させることができる感覚です。子どもと関わる時に、その子をよく理解するために大人は自分の感覚を鍛えて、その子をよくみて、その子の心の声をきくようにしなくてはならないです。これは簡単なことではないですが、日々努力しています。

—— 大人のアートワークの目的は何でしょうか？

❖木村❖ 大人にとっても一番大切なのは、感覚を鍛えていくことです。自分の手を使って生み出し、自分で感じるということがとても大事です。そして、自分がどう感じたかをしっかりと言葉で表現することも大切です。自分が「考えたこと」は、よく言葉にしますが、「感じたこと」は現代では、見過ごされていることが多いです。「感じたこと」というのは、感情とか感覚のことです。

また、シュタイナーのアートワークは、自分の内側を見つめる作業があります。自分が生み出したアートの作品を見た時、自分で自分のことに気付いたりするので、それが本当に面白いところです。気づくとその人は変わるので、ヒーリング効果もあります。誰かに癒してもらうのではなくて、自分で気づいて、自分を癒すのが大切な点です。

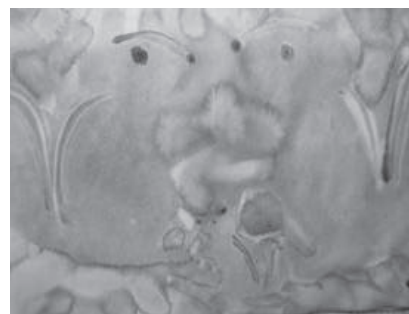
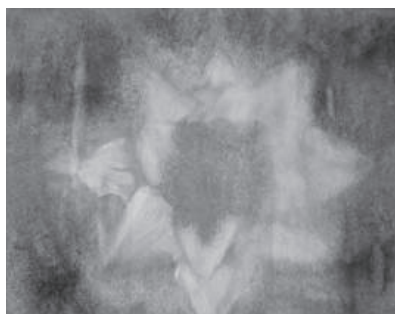
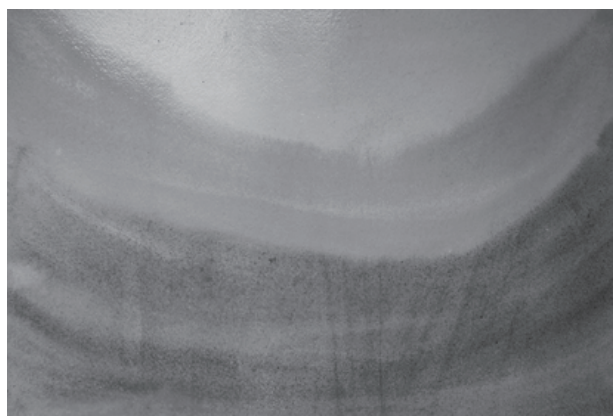
—— シュタイナーは、自主的に理解しながら判断できるようになるという教育が素晴らしいですね。でも、この自主的に学ぶと

いうことは、今の子どもだけではなく、私たち大人も不足してきているかもしれませんね。情報が多くて、情報を集めて自分の考えだと思ってしまっている人が多いように思います。凝り固まっている大人にこそ、アートワークは必要だと感じます。

❖木村❖ 私たちは情報によって判断する場合がありますが、情報は、もしかしたら、間違っているかもしれないです。自分で感じ取る、ということがとても大事で、自分の感覚を信じることも大事だと思います。たとえば、紙の裏表を判断するにしても、自分で触ってみて、自分の感覚を信じて判断するようにします。そんなちょっとしたことで、自分の感覚、判断力を確かめるいいきっかけになります。

—— 先生のお話にとっても共感することがたくさんありました。やはり皆さんにアートワークの素晴らしさを伝えていきたいですね。どうしても何かを作る。何かを描くということだけがアートワークのような風潮があります。もちろんそれも良いことだとは思いますが、心を育てて、人間性を豊かにするためのアートをチャイルドケアでも取り入れていきたいと思っています。

次はぜひ、ワークショップでご指導いただきたいと思っています。ありがとうございました。



※ぬらし絵

ぬらした紙に透明水彩で描く技法。ぬれた紙なので、絵の具が気持ちよく広がり、紙の上で色を出合わせ、新しい色をうみだしていく。基本的に赤、青、黄色の3原色で描く。色と感情とは、つながりがあるので、目に見える色で、目に見えない心の中を豊かに育んでいく。

これからのチャイルドケア

広がる視野と深める思考、そして豊かな心を目指す

巻頭ページですすでにお知らせしました通り、チャイルドケアは、2020年に「チャイルドケア共育協会」として、新たな活動が始まります。今まで伝え続けてきたこと、蓄積してきたことを基本に、さらに大きな可能性へとつなげていきます。

チャイルドケアの学習目的

チャイルドケアの7つのコンセプトは、個だけではなく、その関連性や全体性を見ていくことの大切さを伝えています。しかし、この想いは、開講当初、学習面において取り入れなかったため、CCCはチャイルドケアの概要を知るきっかけであり、ご提案する内容も基本的なことにとどめました。CCIを目指される方になって、やっと7つのコンセプトを深めていく学習に入るため、実はCCCとCCIでは、学習格差があります。

CCCの学習は、「チャイルド」を命のケアとして考え、実生活で役に立つ知恵や包括的に考える力をつけること。CCIは、生活からより視野を広げ、深め、命の在り方や自己実現に至るまでの、より包括的な全体像をもって、すべての命に関わる意識をもつことにあります。これらの学習は、様々な世代や分野を超えて共有できるものだと思います。決して小さな子どものための講座ではありません。

チャイルドケアは、ツールの使い方やノウハウだけを知る講座とも違います。答え合わせをする講座でもありません。学ぶことへの期待と同時に、不安や恐れを体験を通して克服し、自分の中にある答えに気づき、経験を重ねて自信をもち、今度は他者を支える側になりたいという夢を抱き、それが認めてもらえることによって喜びを得るということが、チャイルドケアの学習目的です。それは命がある限り、私たちには必要なことです。

経験や体験を通して、様々な出会いもあるでしょう。新たな分野にチャイルドケアと同じような可能性をみるこ

ともあるでしょう。それを組み合わせて、さらに自分の想いや考えを実現することもできます。チャイルドケアは、様々な形に変化して共有することもできるものだと思います。

今後は、その素晴らしい広がりをもっと良く深めるためのあらゆる分野と共有していく機会を持ちながら、チャイルドケアのスピリッツを中心にした学習強化と、つながりを大切にしたいコミュニティを提案していきたいと考えています。

4つのキョウイクから5つ目の「教育」

チャイルドケアにおいては「教育」という言葉は控えてきました。チャイルドケアには上下関係などなく、フラットな関係性が必要でした。なぜならば、命は皆同じという観点からです。今回協会名にも「共育」とつけましたが、そこにはともに学び合うことの必要性があったからです。師がいて一方的に教えるということではなく、子どもからも学び、仲間からも学び、経験から学ぶということを第一に考えたからです。

そこで、「共育」。共感して響き合いながら学ぶ「響育」。そして、今ある命の大切さを知り、今日という日を大切に生きることを提案するために「今日生く」とつけました。そして、最後の4つ目のキョウイクは、昨今の災害による様々な状況化の中で協力の必要性を感じ、協力し合うことを学ぶ「協育」を後付けで入れました。そして、新協会に移行するにあたり、様々な専門家から教をいただくための機会を得るために、「教育」をしっかり入れていきたいと思っています。ネットを介した様々な情報

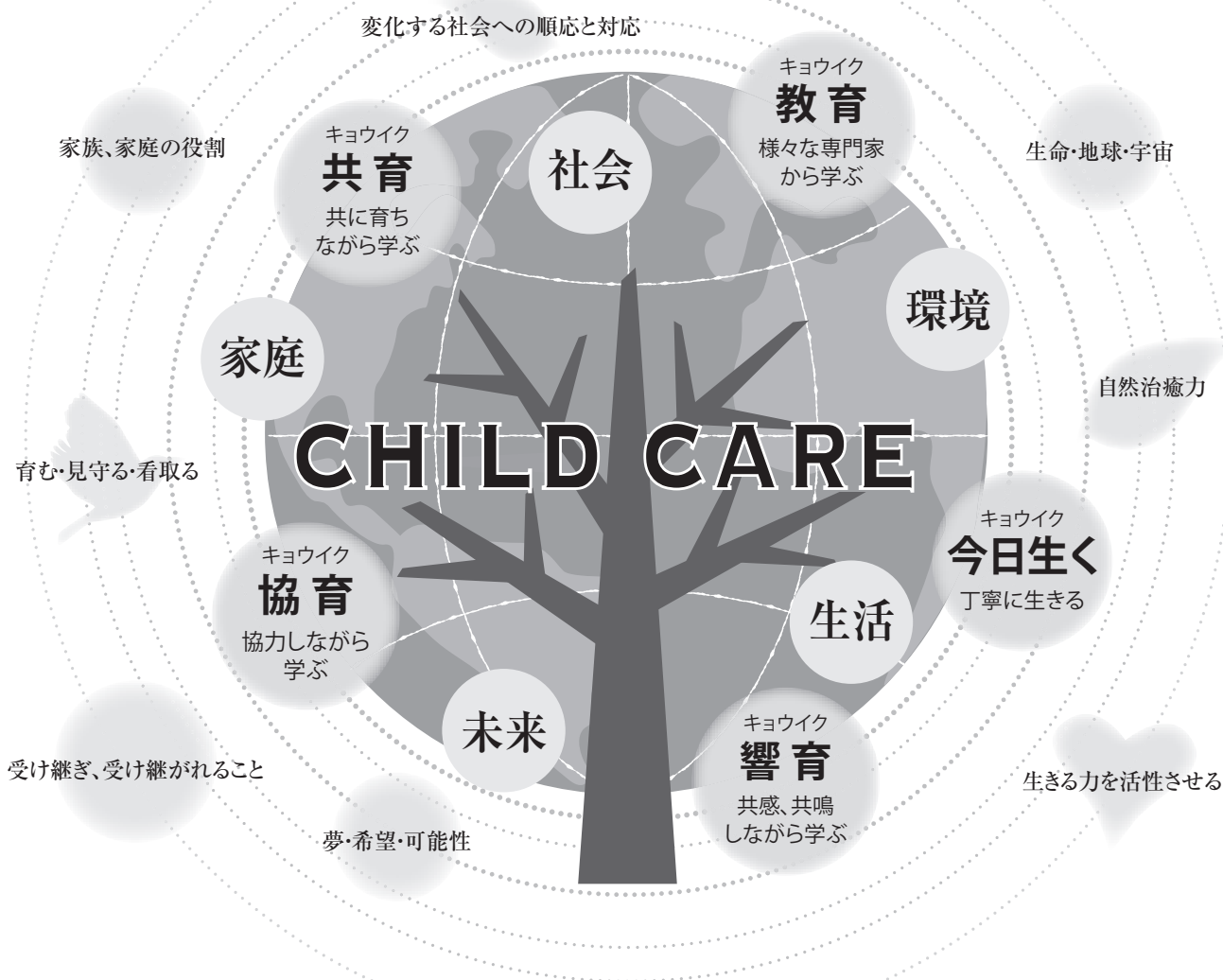
が知識と勘違いされる時代。本当の「教育」とはどのようなことなのか、きちんと見極めたうえで皆さんと共有して学びを深めたいと思います。有名無名関係ありません。時に子どもを先生に迎え、教えを得ることもあるでしょう。学識だけではない、経験から学ぶ教えもあると思います。生きていく上で大切な学びを一緒にしていきましょう。

学ぶことが喜びであり、伝えることは幸せであること

チャイルドケアで大切にしている学び方と伝え方です。でも本当の喜びと幸せを理解することはとても難しいことです。苦難や苦境を乗り越えた時に喜びは得られます。ありのままを受け入れられた時に幸せを感じるものです。楽しい、面白いだけを提案するものではありません。

せん。もちろんそうした要素は必要です。でも面白い面白だけでは生きていくことはできません。人生は、何かとしんどいことが起こります。順調だと思えば苦難を与えられる。でも大変なこともしんどいことも、共感する誰かと乗り越えられたらうれしいですね。一緒に達成した喜びは生きる力になります。チャイルドケアを学習する人も伝える人も互いに寄り添って、喜びと幸せを分かち合っていたきたいと思います。私がチャイルドケアを伝え始めて20年、通信講座で18年。喜びと幸せを感じているからこそ続けることができています。おそらく、長く学ばれている会員さんも同じだと思います。そこがほかの学習にはないチャイルドケアの素敵なところだと自負しております。

さらなるチャイルドケアの広がりと一緒に愉しみましょう。



私たちがチャイルドケアと 過ごした時間

CCI 八木 ちなつさん(神奈川県川崎市)



私たち3人の共通点は、習っていた時期は違いますが、3人とも松本先生のスクールでアロマセラピーなどの自然療法の講座を習っていたことです。先生のスクールではさまざまな自然療法を学ぶ機会がありますが、自然や命について考えることが多く、幅広い世代の方が学ばれていて、子どもがいるいないは関係なく、すべてがチャイルドケアの概念に即した学習につながっているの、何を学んでも共有することができます。

もう一つの共通点は、12年前に出版された先生の著書「わたしと子どもと暮らしのレシピ」の制作に携わったことです。



岡田さんはすでに九州で暮らしていたので、制作時に会えることはありませんでしたが、先生のスクールでは、離れていてもスカイプなどで他地域の方と学ぶ機会もあるので、直接お会いするのは2回目でも、古くから知る旧友のような感じです。伊藤さんとは、松本先生の他の講座で一緒にすることが多く、プライベートでも親しくしています。

今回は、岡田さんが帰省される機会に松本先生のスクールに集まり、先生との出会いからチャイルドケアへの関わりに

ついて話すことにしました。懐かしい先生の著書をめくりながら、制作時の苦労話やハプニング話に花が咲きました。あれからそれぞれの生活の中で、人生の中にチャイルドケアがあることに気がきます。そしてまだ続いていきます。普段はそれぞれの生活があり、離れて暮らしていますが、同じ思いがあることでつながっている意識になり、孤独にはなりません。松本先生を介してつながるご縁が増え、これもまたチャイルドケアだと思っています。

私たちと松本先生の出会い

《岡田》今から20年前、私は整体師を目指して専門学校に入ったのですが、その時の友達にアロマを担当している松本先生の授業が面白いと勧められたのが出会いでした。それからずっと追いかけています(笑)。独身時代から結婚、出産、子育てと影響を受けています。

《伊藤》私は今から15、6年前に、私的なことで落ち込んでいた時にアロマセラピーを知って興味を持ち、先生のスクールで学ぶご縁をいただきました。その後も数年治療院のスタッフとしてお手伝いもさせていただきました。また、その時に空いている時間に落書きをしていたのですが、その絵を松本先生が見てくださり、先生のご著書に描くという機会をもらって、それからずっと会報誌のイラストも描かせていただいています。

《八木》今から14年前くらいでしょうか。私もアロマセラピーを学ばせていただいたことがきっかけです。その時はまだ子どもはいなくて、不妊治療のためもあり、アロマの学習だけではなく、アロマセラピーの施術も受けていました。その後長女を授かり、チャイルドケアを学び実践することは自然な流れでした。その後、次女は心臓疾患を持って生まれてきましたが、その時にもチャイルドケアの考えや松本先生のアドバイスで救われることが多々ありました。今はその娘たちも元気に育っていますが、長女は思春期に入り、難しい時期になりました。思春期に入る以前から公開講座などでチャイルドケアの思春期について学ぶ機会もあったので、心積もりはできています。本当にチャイルドケアには終わりはなく、必然性を感じています。

「わたしと子どもと暮らしのレシピ」の制作秘話

《八木》私がとても記憶にあるのが、先生からの「四つ葉のクローバーを探せ」という指令。無我夢中で探して、ひとつあると、その根っこをもとに辿ればもっと見つかる先生から言われて。童心に返って探したことです。

《岡田》私はミツロウで作るクレヨン制作をしたのですが、実はこれ、松本先生と出会った専門学校の時のアロマの卒業制作でした。先生はそれを覚えていて、一緒に作る機会になりました。

《伊藤》私は、落書きは得意でも「これを描いて」と言われて描くことは苦手。プロではないので、あれもこれもと言われるとスランプになってしまい、あの頃は寝不足続きでしたが、「かわいい」「とてもいい」などとほめてくださると、頑張ってしまう。掲載された時はとてもうれしかったです。

《八木》今ではチャイルドケアのイラストといえば伊藤さん。伊藤さんといえば、チャイルドケアのイラストというくらいイメージイラストですよ。イラストを見ていると癒されます。そういう人も多いと思います。

チャイルドケアに出会って 影響したこと

《岡田》子育ては必ずしも答えがあるものではないということは、子どもを産む以前から知っていたので、最初から力まずに子育てをすることができたように思います。たぶん知らなかったらパニックになっていたかもしれません。そして、いつも相談すると変わらない答え。あれこれアドバイスされるわけでもなく、ずっと変わらないんです。ちゃんと見ていれば育つからって。心配すると「そこじゃないから」って



20年前に専門学校で出会った頃の松本先生と岡田さん

(笑)。20年前から先生との関係が変わらないのも、このバランスが良いのだと思います。怒られたり、ほめられたり、笑ってくれています。子どもも中学生、6年生と大きくなりました。これからは少しずつでも、先生から学んだことを伝えていきたいと思っています。そして先生の思いを九州の地で広げていきたいです。まずは九州で仲間を増やしたり、また、先生に九州に来てもらったりしながら、私にできることをしたいと思っています。

《伊藤》私は子どもがいまいませんから、子どもにチャイルドケアを実践することはありませんが、祖母や父の介護をした時や、愛犬にも同じ思いを持ちます。だから、すべての命は同じチャイルドだということとはとても理解しています。「命」という共通認識だけで、言語にないものを感じ合えたり、分かり合えたりすることができるものです。私がイラストを描く時にもそんな気持ちで描かせていただいています。私は描きながらチャイルドケアを学んでいるんだと思います。

《八木》アロマ、チャイルドケアだけではなく、松本先生から学べるものはずっと学び続けています。子どものため、家族のためということではなく、自分自身のために。でもそれはきっと子どもや家族、そして私の周りの人にも良い影響を与えるものだと思っていますからです。私たち3人が、直接先生から学べることは、とてもラッキーだと思います。だからこそ、いつまでも受け身でい続けてはいけないうえ、今度は先生から習ったことを伝えられるようになりたい、ならなくてはと思っています。皆住んでいる場所は違っていても、同じ志の方と今はネットを介してつながり、一緒に学ぶこともできます。心強いですね。



CCI 八木 ちなつさん(神奈川県川崎市)
小学生(小6、小3)の娘の2人の母。去年の夏休みの宿題で卵からかえしたウズラ8羽と暮らす。チャイルドケアのスピリッツを母で受け継ぎ中。松本先生のお手伝い要員として時々活動。



伊藤 容子さん(東京都)
チャイルドケアのイラスト担当。松本先生の自然療法治療室 松本鍼灸治療院でセラピストとして活動後、祖母、父の介護生活を終え、現在母と、犬と暮らす。



CC加盟校ベビームーン主宰
岡田 亮子さん(福岡県八女市)
介護福祉士。中学生と小6の一男一女の母。独身時代から松本美佳先生に師事。横浜から結婚を機に福岡県の八女に移り住むが、eラーニングや、スカイプを利用して積極的に学習に励んでいる。

チャイルドケアとの出会い

CCC 江澤 由美子さん（東京都大田区）

幼稚園教諭の経験を経て、現在は、自宅に隣接した場所で「保育ママ」として活動中。心、からだ、精神を大切に、愛情いっぱいの保育を心掛けています。



美佳先生とは子どもが同級生というご縁で、まだチャイルドケアという講座がない時から、すでにチャイルドケアの影響を受けていました。そしてそれは子どもが成人しても変わらない普遍的な教えとして継続されています。

私は以前、幼稚園教諭として働いていました。子どもの頃からの夢で子どもが好きというだけで選んだ職業でした。しかし、結婚を機に退職し、その後男児を出産しました。子どものことを学び、現場にもいた私にとって、理想の子ども像、子育て像がありましたが、ことごとく崩され、自信を失い、悩み多き子育てが始まりました。



そのような中で追い打ちをかけるように、婦人科系の不調で次の子どもを授かることができないとわかり、私にとって絶望的な状況になりました。そんな時に美佳先生から声をかけていただき、チャイルドケアを学び、多くの自然療法の取り組み方や命のとらえ方など、幼児教育とは別の観点で子育てを学ぶ機会を得ました。

一人息子の子育ては、つい過保護、

過干渉になり、常に息子のことで頭がいっぱいでしたが、それが息子への愛情だと信じていました。しかし、それは母親の私にとっても息子にとってもマイナスであることを、チャイルドケアの学習を通して気付きました。息子を一人の人間として尊重することで、変化が出てきました。

そして、それは私自身のことも考える機会になり、子育て以外のことにも目を向けるようになりました。子どものPTAや地域の活動に積極的に関わるようになり、一人息子との距離を少し取ることができるようになった時に、子育ては私一人でするものではなく、周りの皆さんに支えてもらいながらするものであることにも気づきました。その経験を通して、無くしかけた自信と勇気を持てるようになりました。

さらに、もう一度保育に携わろうと夢を持てるようになりました。自分の子育てがあるからと復帰はとうにあきらめていましたが、子どもに関わる仕事がしたい！ 保育がしたい！ と強い思いが沸き起こりました。子育てに追われていて、自分の大切な夢を見失いかけていたように思います。それをチャイルドケアで背中を押してもら

い、現実的な形で考えることができるようになりました。幼稚園の先生としてのキャリアと自分自身の子育て経験を生かせる『保育』として、保育ママになろうという新たな夢を抱くことができました。

その決意から2年ほど

保育園勤めをし、2011年に家庭福祉員として認定され、保育ママの活動をスタートしてから、今年で8年目となります。

今現在、0歳児の女兒を2名受託しています。2人の子どもたちに分け隔てなく100%の愛情を注ぎ、子どもたちの気持ちに寄り添える喜びと幸せを感じています。そしてお父さんやお母さんと成長を共に喜び合うことができます。お子さんをお預かりしている責任感は計り知れないほど重大で、常に緊張感がありますが、その中で子どもたちがくれる笑顔は私の最大の活力源となっています。

チャイルドケアを通して、広い視点で考えられるようになった時に、子どもに対する興味から、自分自身のことや家庭のこと、子どもの親御さんやご家庭のこと、地域のことは今まで以上に、そして社会や環境についても関心を持つようになりました。このすべてがチャイルドケアであることを日々感じています。

「わたしと子どもと暮らしのレシピ」に参加しました

私も松本先生の著書の制作に間わせていただきました。趣味で植物を育てたり、お花のアレンジなど楽しんでいることを知ってお声掛けいただきました。松ぼっくりのリースは、やりがいのある作品になりました。



子どもの成長とチャイルドケア

CC 加盟校 アロマケアスクールMommy

前田 智巳さん（愛知県豊橋市）

3人の年子を持つ母。アロマ講師を務める中、チャイルドケアを家族のケア、命のケアとして提案しています。



私がチャイルドケアの学びを始めて10年、加盟校としての活動は7年目となりました。3人の子どもも19歳、18歳、17歳になろうとしていて、子どもの成長とともに私自身も母として育てられたように思います。

私がこの学びを始めたきっかけは、アロマの認定講師としての活動中にハーブや自然療法にも興味を持っていたことと、同年代のお子さんのいるお母さんたちに何かお伝えできないかと学び始めました。

そしてその思いがいつしか、地元豊橋で松本先生の講座を2回開催させていただくことにもつながりました。子どもたちが大きくなるにつれ、先生の講座での気づきは、さらに私の心に深く響き、悩みながらも多くの気づきや学びをいただきました。ただそばに寄り添うことや遠くから見守ることなどもその時々気づくことが違い、日々学びの中にいます。

チャイルドケアは難しいことではなく、日々の生活をシンプルに見直したり、ひと手間加えていくことでできるケアです。私自身は、アロマの講師でもあるので、通常のアロマのレッスンでは理論的な知識や手法、多様な精油について指導しています。チャイルドケアでは、そのスタイルを切り替えてシンプルにお伝えすることに難しさも感じますが、あえてあれこれ使うよりも1本あればできることを、いろんな角度からシンプルにお伝えしたいなと思っています。この切り替えによってふり幅が持てることで、行き過ぎないケアをとらえることができているように思います。

また、私が毎日の生活の中で心がけていることは、家族がいつも笑顔でいられる空間を作ること。家族を思いながら料理を作ったり、温かいものを皆で囲んで食べたり、おやつを食べながら学校の話の聞いたり、いつもの様子を見ながら家族の変化も感じるようにしています。

昨年名古屋で開催された松本先生の言葉のワークショップ講座に参加した時は、言葉には言霊とあってエネルギーがあり、きれいな言葉やポジティブな言葉を使ったり、相手を思いながら伝える言葉はプラスのエネルギーとなり、魔法のお薬のように元気になることを体験しました。またネガティブな言葉はマイナスのエネルギーを与えたりすることも体験し、日頃からポジティブな言葉をいっぱい使いたいなと思いました。

タッチケアでは、手技や順番ではない触れることの大切さも学んだことで、最近

の家族へのケアは「大丈夫だよ!」「がんばってるね!」という言葉を中心に心の中で思いながら行っています。すると、私自身の心も温かくなり、その思いも相手に伝わっているのではないかと考えています。

チャイルドケアは、子育てだけではなく、私にとってもいろんな気づきを与えてくれるケアで、年代を超えてできるケアです。加盟校として活動する中で、時には伝えることの難しさも感じていますが、この講座を通して、これからも多くの方にチャイルドケアをお伝えしていけたらと思っています。

11月にも松本先生のワークショップが名古屋で開催されます。ご興味のある方はぜひ一緒にしませんか?（詳細〇ページ）

豊橋・名古屋で松本先生の講座を主催

同世代のお母さんたちとチャイルドケアを共有したくて、松本先生をお呼びして講座を主催しました。名古屋会場は同じ東海地区で活動されている山本さんと一緒に開催しました。

今年の11月にもまた名古屋で開催します。

2014年「タッチケア」

2016年「思春期のケア」

2017年「言葉のケア講座&ワークショップ」



チャイルドケアと私

CC 加盟校 ハニーサックル

藤野 智子さん（京都府京都市）

チャイルドケア歴 18 年。自分のペースでできることを提案中。自らの経験も含め、
今後はチャイルドケアをさまざまな世代にお伝えしていきたいと思います。



チャイルドケアと出会って18年。娘は高校2年生、息子は中学生になりました。見守るケアは現在進行中です。きっかけは、娘を妊娠中に、期待と不安な気持ちの中たまたまネット検索で見つけたJAAのホームページの中に、チャイルドケアという言葉を見つけました。そして、2000年チャイルドケア入門セミナーで松本先生に出会いました。妊娠8ヶ月で出産という未知の世界、少しでも参考になるお話が聞けるのではという期待で受講しました。先生ご自身の出産時の体験談や、子どもを取り巻く環境など7つのコンセプトを知り、ぜひ勉強してみたいと思いました。

その2ヶ月後に娘を出産。ところが生後20日で救急車で運ばれ入院、退院後



ほっとしたのもつかの間でした。

長女はとても敏感な赤ちゃんでした。抱っこで寝かしつけても布団に下ろすとすぐに泣くので、抱っこで寝かせてを繰り返す夜を過ごしました。どうしても、育児書通りにいかないとすぐに不安になっていたのを思い出します。

娘が一歳を迎える前に、主人のドイツ赴任が決まり、一緒に生活をする事になりました。育児をしながら、海外赴任で忙しさの中、さらに長男の誕生もあり、チャイル

ドケアの受講はすっかり後回しになっていました。ドイツではアロマやハーブティーが身近に取り入れられており、そこでのアロマやハーブの出会いはとても勉強になりました。約1年半の海外生活も終わり、息子が7ヶ月のころに帰国しました。

帰国後は、また新しい土地での生活がスタートし、少し余裕が出てきた頃、ようやくチャイルドケアの受講ができました。とてもゆっくりのペースでしたが、自然がいろいろの環境の中、娘は幼稚園まで徒歩でベビーカーの息子と片道20分を通園。雨の日も大雪の日も頑張って歩きました。通園途中にいろんな草花や、虫などを見つける楽しみがたくさんありました。

その後、何かを始めなくてはという積極的な思いから、ベビーのためのタッチケア教室をスタートさせました。これもチャイルドケアの中にある「知覚動考」に励まされたからです。

そして、私がチャイルドケアの中で、今一番大切にしたい、伝えたいことは命のケアです。実父と実兄の死をきっかけに、看取り、命の尊さを改めて考えさせられました。誰でも必ずいつかは迎える死に對

して、普段は関心をもつ

ことは少ないものです。

2人とも末期がんでした。

辛いこと



ですが、余命がお互いに分かっていたので限られた時間をどう全うしていくか、双方が考えさせられることができました。最期はお互いに感謝の気持ちを伝えることができたこと、これはチャイルドケアを学んでいたからだと思います。チャイルドケアを学んでいて良かったと思うことは、生活をする中で、子どもが育っていく中で、また人生のタイミングの中でたくさんあります。

子どもたちは思春期真っ只中で戸惑うこともあります。子どもたちも親の知らない環境で精一杯頑張っているし、ストレスを抱えています。家庭が一番安心できる場所。我が家は今、毎日必ず皆が集まる居間があり、それぞれいろんな話をして楽しんでいます。ちょうど良い親子の距離感ができています。

これも見守るケアに対する考えがあったからです。生活の土台になるチャイルドケア。これからは身近なお母さんから年齢に関係なく、私の経験談を交えながら広めていけたらと思います。

もう一つのチャイルドケア通信講座「伝書鳩講座」

私は先生の個人スクールで開講されていた通信講座「伝書鳩」を受講していました。先生が個人的にチャイルドケアホームワーク講座とは違った観点で作られ、1〜3年生、上級生と進級しながら学ぶものです。内容は、季節ごとに課題があり、春であれば春をここで感じる、春を見つけに出かけるなど、生活に密着した課題は楽しみながら普段あまり気にしないことに意識を向けて勧められました。アートセラピー、季節のケア、食のレッスン他自分のこころを素直に表現することは最初は難しかったですが、毎回先生からのメッセージからたくさんの気づきをいただき、自分を知ることが出来ました。今もテキストと添削は大切に持っています。

※現在は開講していません。



五行説

五行説

前回の陰陽論と並ぶ東洋医学(中国医学)基本概念に五行説があります。もともと陰陽論と五行説は、別に発生した独立した学説でしたが、紀元前300年頃結合して陰陽五行説とされたと考えられています。

五行説は東洋医学(中国医学)の理論を支える自然観のひとつで、中国独自の自然哲学です。自然界のすべてのものや現象を、生活に関係の深い「木・火・土・金・水」という五つの要素の特性や相互関係、運動(動き)からとらえようとする考え方です。五行はもともと五材と呼ばれていましたが「材」から「行」という表現に変化したもので、「行」とは「めぐる」ということになります。

外界環境や人体の組織器官、精神状態などとの相互関係を説明することに利用し、鍼灸師などは臨床(治療)にも役立てています。古代中国人の素朴な観察に由来するものであり、すべてのものを五つの要素に分けて説明しようとするのが不合理であるという考えもありますが、鍼灸師が臨床を行うときに「五行説が的を得ている」と思われることが多くあります。

陰陽五行説の考え方を知り生活の中に取り入れると、心身に起こった微妙な変化を感じとり、自分や家族の未病を発見することにもつながります。

五行の関係

五行には相互に援助し促進する関係の「相生関係」と、相互に抑制しコントロールする関係の「相剋関係」があり、一定の順序があります。

●相性関係

- 木は火を生ずる=木を燃やすと火になる

陰陽五行説
相生



- 火は土を生ずる=火は燃えつくすと灰(土)になる
- 土は金を生ずる=土の中から金属が取れる
- 金は水を生ずる=金鉱のある所に水源あり
- 水は木を生ずる=木は水分を吸収して成長する

●相剋関係

陰陽五行説
相剋



- 木は土を剋する=木は土より養分を吸収する
- 土は水を剋する=土は水をせきとめる
- 水は火を剋する=水は火を消す
- 火は金を剋する=火は金属を溶かす
- 金は木を剋する=金属は木を切り倒す

五行の「木・火・土・金・水」を、それぞれ人体の「肝・心・脾・肺・腎」にあてはめて、「相生・相剋関係」で考えると

「相生関係」では

- 肝(木)は心(火)を生じ
- 心(火)は脾(土)を生じ
- 脾(土)は肺(金)を生じ
- 肺(金)は腎(水)を生じ
- 腎(水)は肝(木)を生じる、となります。

- 相性関係は母子関係になります。

*肝(母)が弱くなると心(子)に影響を与える。

「相剋関係」では

- 肝(木)は脾(土)を剋し
- 脾(土)は腎(水)を剋し
- 腎(水)は心(火)を剋し
- 心(火)は肺(金)を剋し
- 肺(金)は肝(木)を剋する、となります。

五行の相生と相剋の関係性が良く、五臓のバランスが取れている状態が健康な状態であると考えます。

専門家が「相生・相剋関係」という考え方を応用する場合、たとえば心の不調を治療する場合、次のように考えます。

- 心そのものを強くする
- 肝(母)を治療することで心(子)強くなり、心を剋している(抑制している)腎(水)を弱め、心(火)を強くするなど間接的な治療を施すことも可能となります。

●現代病ともいわれるアトピー性皮膚炎、喘息、花粉症などは、ひとつは肺の機能が弱くなったために起こる症状と考えますが、肺の母である脾(消化器系統)の不調が影響しているとも考えます。

したがって、肺(金)そのものを強くすることや、しっかりと脾(土)を整え、肺を援助できるようにすることも大切です。

●ストレスを感じて胃が痛い

ストレスが原因で「肝」の働きが乱れ、「脾(胃腸)」に悪影響をあたえた状態。

●ストレス(肝)を感じて、甘いものが欲しくなる(脾)

ストレス(肝)が原因で(脾)が抑制されるため、(脾)を栄養する(五味)甘みが欲しくなる。*「甘み」も摂りすぎに注意。

今回は五行色体表についてお話しします。色体表の見方がわかるとこれらの関係性がよくわかるようになるでしょう。

いやしの祭典 2018

東京・大阪の他、サテライト会場は残すところ4会場にて開催！

いやしの祭典ではアロマセラピーをはじめ、ハーブ関連の商品販売、トリートメント、各種体験、フードブースなどお楽しみいただけます。最寄りの会場に是非お越しください。

各種詳細、お申込みはこちらから

https://www.jaa-aroma.or.jp/iyashinosaiten_pj/ いやしの祭典 2018 検索

TEL / 03-5928-3100 ※専用サイトにて全国の各詳細をご紹介します。

ココロとカラダ よいこと市

メイン会場は東京と大阪！限定商品、ワークショップ、
こだわりのfoodコーナー、音楽、セミナーなど盛りだくさん！！

- ★入場無料（一般500円）
- ★先着70名に「キレイの福袋」プレゼント！
- ★今年もアロマの朝市&スタンプラリー開催！
- ★「大人の学びチケット」でセミナーをお得に楽しむ！
- ★JAA提供の「雪美肌ワークショップ」は、美白&もっちり「酒かすパック&日本酒ローション」
- ★チャイルドケアブースでもワークショップなど提供予定！
- ★ご家族でも、お一人でもお楽しみいただけます

東京 11月10日(土) 10:30～17:00



入場無料



■会場／秋葉原UDXギャラリー
東京都千代田区外神田4-14-1
(JR秋葉原駅 電気街口目の前)

大阪 11月18日(日) 10:00～16:30



入場無料



■会場／OMMビル2階Cホール
大阪市中央区大手前1-7-31
(天満橋駅直通)



SATELLITE会場

鎌倉

鎌倉古民家でつながる～人・植物・香り・星～☆

- 日時／11月11日(日)
10:00～17:00
- 会場／garden&spaceくるくる
- 入場無料
- セミナー2種のみ前売りチケット制
- 受付／鎌倉ロゼケール
kamakuraiyashi1111@gmail.com



富士
河口湖

自然の中で見つける・つながる・
五感で感じる あなたのメッセージ

- 日時／11月3日(土・祝)
- 会場①／10:00～12:00 セミナー&ランチ
河口湖北原ミュージアム・ハッピーデイズカフェ
- 会場②／10:00～16:00 セラピー体験&ワークショップ
河口湖ハーブ館2F
- 入場方法
会場①事前予約チケット制
(定員30名／6,000円)
会場②入場無料
- 受付／アトリエ紗泡(SAPO)杉本
sapossoap423@gmail.com



宮崎

「スポーツ王国」
宮崎で楽しむアロマを&ハーブ

- 日時／10月28日(日) 10:00～15:00
- 会場／農園レストラン「はいびすかす」&
アソビバカフェ「宮崎ベース」
- 入場無料
- 受付／アロマスクール・マナマキ(福島)
oceanbros12@bell.ocn.ne.jp



福山

香りの聲～自然時間

- 日時／11月23日(金・祝) 10:30～16:30
- 会場／福山市ものづくり交流館
- 入場無料
- 来場特典／先着50名様に
サシェプレゼント
- 受付／アロマラブ(清水)
info@aromarub.com



INFORMATION

CC研究所主催

松本美佳先生の

チャイルドケア研究所主催講座

チャイルドケア研究所は、松本美佳のオリジナル講座を提案するだけではなく、様々な分野の先生をお招きして、考えを深める機会を作っています。毎回各界の先生の講座は大好評です。

「チャイルドケアの日」in名古屋

感性と感覚を高める五感★塾（講座&ワークショップ）

名古屋
11月12日

CC研究所では、チャイルドケアの学習を深めるためにさまざまな講座、W.Sなどを展開しています。学習の有無関係なく「チャイルドケア」を体験いただくイベントを称して「チャイルドケアの日」とし、研究員の皆さんと開催しています。今回は、松本美佳が提案する感覚と感性を高めるためのW.S『五感★塾』の内容から、通信講座では学習できないアートワークやボ

ディワークでモノの見方を発見したり、心の中にある深い意識を探ったりと、少し内観する大人のワークをご提案します。チャイルドケアで大切なのは、感じて、気付いて、考えて、答えを出していくことにあります。皆さんと楽しく語り、考え、深く学び合える日にしたいと思います。今回は、少人数で行います。

- ◆講師／松本美佳
 - ◆日時／11月12日(月)
10:00~15:00(予定)
 - ◆会場／名古屋某所
 - ◆受講費／10,000円(別途会場費人数割り)
 - ◆世話人／加盟校 ふう〜たんぽぽの里
山本美津子
- E-mail:angel.smiling0107@gmail.com

チャイルドケア研究所 特別企画第3弾

横浜
12月8日

山上亮先生の 整体的子育てとボディワーク in横浜

前号の特集でご紹介した、整体ボディワーカーの山上先生の講座がいよいよ開催されます！山上先生から素敵なメッセージが届いております。ぜひご参加ください。最後に「チャイルドケアと整体的子育て」として、山上先生と松本美佳で対談させていただきます。

整体ボディワーカーの山上です。クレヨンハウスから「整体的子育て」という本を出版している関係で、ふだんから各地で親子を対象とした「整体的子育て講座」などを行なっています。整体は、人が持って生まれた能力を存分に発揮しながら、自分の要求を全うしてゆく「全生」という思想を掲げています。それは熱を出すべき時にし、排泄すべき時に排泄し、そして感じたことをしっかり外に表現してゆく、そんな在り方を指しています。大人である私たちは、子どもの病気や問題行動は、つつい抑えて沈静化させようと考えてしまいがちですが、そこに何らかの要求があってそうなってい

るのだとしたら、抑えれば抑えるほどどんどん内にこもらせることになり、それはやがて破壊的な力を持って溢れ出るようになるかもしれません。ですから子どものそのような変動に対して、「いったいどんな要求があっそうなっているのだろう？」と考え、しっかり全うさせてあげる方法を用意してあげること。それが、私たち大人が子どもに対してしてあげられることなのだと思えます。今回はそんな整体的な観点から見た、子どものからだの「育て方」と「手当て」について、実習も少し交えながらお話ししていこうと思います。

(山上 亮)

- ◆講師／山上 亮先生
 - ◆世話人／松本 美佳
 - ◆日時／12月8日(土)13:30~16:30
 - ◆会場／八洲学園大学内(横浜駅から10分)
 - ◆受講料／MC会員、会員と同伴の場合4,000円
一般4,500円
- ※当日託児はありませんが同伴はOKです。
必ずご連絡ください。
- ◆お問合せ・申し込み
下記にメールをください。詳細をご連絡します。
- ・チャイルドケア研究所
E-mail : cckenkyujo@gmail.com
https://cckenkyujo/jimdo.com/
- ※懇親会も予定しています。



横浜

2月23日

志賀くにみつ先生の
「はじめてのシュタイナー」講座in横浜

今号の特集でご紹介したシュタイナー講師、志賀くにみつ先生の講座を開催します。シュタイナーを知らない人はもちろん、知っている人もシュタイナーを改めて知り、深める機会になります。志賀先生はメルヘンを研究されているお立場から、童話からシュタイナーを解説するなど、とても分かりやすく、そして深い気づきを得ることが出来ます。

「シュタイナーは、生きるための道しるべになる」という先生の言葉からも、きっと私たちの生活や人生のヒントになることと思います。最後に「チャイルドケアとシュタイナー」として、志賀先生と松本美佳で対談させていただきます。

◆講師／志賀くにみつ先生

◆世話人／松本美佳

◆日時／2019年2月23日(土)

13:30～16:30

◆会場／八洲学園大学内(横浜駅から10分)

◆受講料／MC会員、会員と同伴の場合4,000円

一般4,500円

※当日託児はありませんが同伴はOKです。

必ずご連絡ください。

◆お申し込み方法は、下記にメールください。詳細をご連絡します。

・チャイルドケア研究所 <https://cckenkyujo@jimdo.com/>・お問合せ・申し込み／チャイルドケア研究所 cckenkyujo@gmail.com

※懇親会も予定しています。



JAA主催

チャイルドケア(CC)認定加盟校 指導者講習会

東京
12月15日

CCIの方は、加盟校としてチャイルドケアを地域に広めていきませんか。

ご希望の方は加盟校登録をお済ませのうえ、講習会にお申込みください。すでに加盟校となられた方の復習にもおすすめです。

◆日時／12月15日(土)

12:00～17:00

◆会場／東京都豊島区池袋駅東口徒歩5分

◆内容

【規約説明】認定加盟校の規約の再確認

【指導者講習】CC講座の指導のポイント、

主宰者としての心構え等のレクチャー、質疑応答

◆受講料／10,800円

復習受講／5,400円

◆認定加盟校開校の条件

MC会員およびCCIライセンス取得者

東京追加開催
1月30日

松本美佳先生監修 チャイルドケア1day 講習会シリーズ

ファイルNo.2 チャイルドケアのタッチケア講座
——お手玉&手ぬぐい編——レジメ&
修了証
付き

手ぬぐいを使い、着衣の上から刺激したり、手遊びなどの触れ合いを通じて、感性とコミュニケーションを高めます。

◆開催日／会場

2019年1月30日(水)

東京都豊島区 池袋駅東口徒歩5分

◆持ち物／フェイスタオル、日本手ぬぐい

◆第1部／講座編 13:30～15:00

◆受講料／

MC会員・チャイルドケア受講生 2,500円

JAA会員 3,000円／一般 3,500円

◆第2部／指導編・修了証付き

15:15～17:00

第1部の内容を指導していくために必要なノウハウをレクチャーします。

◆受講料／MC会員 7,000円

チャイルドケア受講生 9,000円

❖レジメをコピー使用して開講したい方は、必ず第1部と第2部にご参加ください。

JAA スクーリング、講習会のお申し込みについて お申し込みは開催2週間前までにお願いします。

お電話にてお申し込みください TEL: 03-5928-3100

お振込先

■三菱 UFJ 銀行／池袋東口支店(普通)1920305

■ゆうちょ銀行／00170-4-122869

■名義／日本アロマコーディネーター協会

※キャンセルは、その開催日の1週間前(土日祝を除く)までとさせていただきます。開催日1週間以内の場合は参加費用のご返金はできませんので予めご了承ください。

※会場は変更となることがあります。

※催行人数10名に満たない場合は、延期または中止となることがあります。開催の可否は、各会場2週間前に決定しますので、お早めにお申し込みください。

会員サポート講座



基礎編、ベビータッチケアに続いて、今回から「チャイルドケアのタッチケア～お手玉&手ぬぐい編～」の開催校もご紹介します。手ぬぐいを使い、着衣の上から刺激したり、手遊びなどの触れ合いを通じて、感性とコミュニケーションを高めていくワークショップです。お近くにお住まいの方はぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか？学習するうえでさまざまな情報を発信されています。

地 域	スクール名／主催者	お申込み先	開催内容／日時
山形県 米沢市	アロマヒーリングルーム&スクール凜香 齋藤 裕美	080-1822-5481 aromarinka1207@gmail.com	㊦日時応相談
山形県 長井市	アロマスクールLa.fleur 金田 弘子	070-4394-9420 la-fleur@t-knd.com	㊦日時応相談 ㊧日時応相談
埼玉県 羽生市	心結～ここゆい～ 鳥居 直子	080-1069-4170 rose_pink_nao_lover@yahoo.co.jp	㊦日時応相談
千葉県 千葉市	チャイルドケア葉から芽(Hakarame) 近藤 優子	043-256-0436 yukono0904@ybb.ne.jp	㊦日時応相談
東京都 羽村市	クローバーアロマスクール 萱原 恵子	042-554-5742 cloverhouse@t-net.ne.jp	㊦日時応相談 ㊧日時応相談
東京都 青梅市	さくらいろ 普代 加奈	0428-27-3491 sakurairocure@yahoo.co.jp	㊦日時応相談
東京都 北区	おひさまのたね 野澤 智恵子	090-9803-8878 ohisamahuman@yahoo.co.jp	㊦、㊧ともに平日月曜・水曜午前 他応相談 ◆ここにふれるタッチケア／平日月曜・水曜午前
東京都 小平市	アロマハーブスクール&エステサロンサシェ 鴨下 徳子	090-8514-2604 http://sachet-school.com/ ※HPよりお申込み可能です。	㊦開催日応相談10:00～12:00 ㊧日時応相談 ㊨日時応相談
愛知県 豊橋市	アロマケアスクールMommy 前田 智巳	080-1616-0895 http://www.mommy-aromacare.com ※HPよりお申込み可能です。	㊦11/7(水)、2019年1/23(水)ともに10:30～12:30 ㊧11/21(水)10:30～12:00 ㊨11/2(金)、12/5(水)ともに10:30～12:00
愛知県 春日井市	ふう～たんぽぽの里 山本 美津子	090-3162-3663 fuu.tanpoponosato1599@gmail.com	㊧日時応相談 ㊨日時応相談
愛知県 碧南市	Alohilani アロマ&チャイルドケアスクール 小笠原 理江	090-1289-3483 alohilani2011@me.com	㊦日時応相談
大阪府 大阪市	ぶぶちゃんのほっぺ 武部 みき	bubuchanhoppe@gmail.com	㊦日時応相談 ㊧日時応相談 ㊨日時応相談
京都府 京都市	ハニーサックル 藤野 智子	090-3925-1861 cocom37@hotmail.com	㊧日時応相談
石川県 金沢市	アロマ・クレイ・チャイルドケアApple leaf 川崎 絵里	090-4688-3906 appleleaf2015@gmail.com	㊦日時応相談
熊本県 熊本市	チャイルドケアのぞみ 渡邊 望	090-7448-5363 watanon3@yahoo.co.jp	㊦日時応相談
沖縄県 うるま市	チャイルドケアスクール木蔭～こかげ～ 山下 洋美	070-4399-3089 yajirobee.374@gmail.com	㊦開催日応相談(午後スタート)

㊦ スクーリング基礎編

- ◆チャイルドケアの7つのコンセプトを深めよう!
- ◆受講料／MC会員・CC受講生・JAA会員・JAS生3,000円
一般4,000円

㊧ ベビータッチケア入門講座 ねんね～おすわり編

- ◆受講料／MC会員・CC受講生 2,500円
JAA会員 3,000円 一般 3,500円

㊨ ベビータッチケア入門講座 お手玉&手ぬぐい編

- ◆受講料／MC会員・CC受講生 2,500円
JAA会員 3,000円
一般 3,500円



INFORMATION

年会費についてのお知らせ

皆様の年会費の振替予定額を
JAAのホームページからご確認いただけます。

振替予定金額の確認方法

2月の振替日は2月6日(水)となります。
対象者の振替予定額は「会員専用ページ」
よりご確認頂けます。

●会員専用ページ

ログイン名「seikaiin」
パスワード「JAAaroma」
ログイン後「会員更新・年会費検索ページ」をクリック、「生年月日」「会員番号」
を入力いただくと、「お名前」「振替日」
「振替予定金額」が表示されます。

※検索にご利用頂く「会員番号」は、会報
誌の宛名ラベルのお名前の下の番号を
使用致します。

※協会に「生年月日」のご登録がない方は
「11111111」で登録されています。
検索結果が表示されない場合にお試し
ください。

●ご案内

・マザーズクラブ年会費の検
索には、「3」から始まる12ケ

タの番号をご入力ください。

・その他JAA会員年会費の検索には、別
途「9」から始まる7ケタ、または12ケ
タをご入力ください。

●情報の確認時期

振替予定金額が確認できる時期、また振
替指定金融機関の変更締切日は以下とな
ります。

振替日	情報確認の 可能時期	金融機関の 変更締切日
2月6日の方	12月1日～	12月20日
6月6日の方	4月1日～	4月20日
10月6日の方	8月1日～	8月20日

加盟校
主宰者様へ

2019年1月

チャイルドケア・コーディネーター ライセンス認定試験 実施要項

通学講座：受験手続きの流れ

◆試験日／2019年1月27日(日)

◆受験資格／2019年1月25日
(金)現在、協会が指定する各ス
クールの所定のカリキュラムを修
了し、修了証書を有している者

◆試験形式

理論試験(記述・選択)90分
小論文60分

◆受験料／10,800円(税込み)

◆受験願書の提出期間

2018年11月26日(月)～
2018年12月28日(金)(必着)

※認定試験の合格発表は2月上旬、MC会員登録手続きの期限は
3月末、登録者へのライセンス証等発送は4月下旬です。

※ホームスタディ講座の受講生は別規定となります。

Congratulations

今後の更なるご活躍を心より
お祈りしています

2018.6/1～2018.9/15付

*チャイルドケア・コーディネーター合格者の皆さん(敬称略1名)／山下美香

*チャイルドケア・インストラクター合格者の皆さん(敬称略1名)／志甫和江

MC会員の更新手続き

右記の受講番号に該当する方は、今後のレポート提出に
はMC会員の更新が必要です。(更新手続き書類11月
月上旬郵送)更新をされない方は、次号より本誌ピーカ
ーのお届けもストップします。予めご了承ください。

●受講番号(最初の5桁)

CC17-9 / CC17-X /
CC17-Y / CC17-Z /
CC18-1J-005RJA



原稿募集! 活動報告など誌面を利用して発表してみませんか?

日本アロマコーディネーター協会 チャイルドケア本部

〒171-0022 東京都豊島区南池袋 1-25-9 今井ビル 5F TEL/03-5928-3100 FAX/03-5928-3500

E-mail/info@childcare-jp.com URL/www.childcare-jp.com/ ●MC 会員専用ページログイン方法/ログインID: CC パスワード: mckaiin